

夏休み合同子ども会



シュウマイ先生（写真左）とアヤシイ大会委員長（写真右）

去る八月六日、蔵本通支坊で夏休み合同子ども会が行われました。

命はつながっている

今年、久しぶりに龍谷大学伝道部から「よ

ちゃん」こと藤本陽介先生と「シュウマイ」こと橋本秀円先生が来てくれました。おつとめの後はご法

話。当日は八月六日で原爆の日。広島出身の「よちゃん」が、原爆の話とお浄土にいるという「共命鳥」の話をしてくれました。



本堂お内陣のどこかに共命鳥が彫つてあります。普段入れないお内陣をみんな探検

頭が二つで胴体がひとつのこの鳥は、文字通り「命を共にする鳥」。でもちよつとしたことからケンカになり、片方が残りに毒を飲ませてしまいます。身体はひとつですから、両方も命

を落としてしまうというお話です。命はつながっていて、相手を傷つけると結局自分も傷つくんですね。よちゃん、

室内オリンピック

ご法話の後は、ゲーム。



聖火だっているのだ

今年はロンドンオリンピックの年でしたが、お寺でも二班に分かれて室内オリンピック。色んなゲームでもり上がりました。今年は特に、お行儀とかもり上がりとかで班の得点がプラスになり、子どもは遊びながら大切なことも学ばせてもらいました。



ゲームでもり上がる子供たち。

昼ご飯の後は、お楽しみのかき氷食べ放題。つまりお代わり無制限。イチゴ・レモンなどのシロップも、かけ方は自由。シロップが

まぎって変な色になったの
を笑いながら食べている
子どもや、これで六杯
目だと言っている子もい
ました。お腹をこわさな
かったでしょうか。



かき水食へ放題だぜ。ワイ
ルドだろ？



遠く広島市から参加してく
ださった元中さんご一家。

さる吉と黒ブー

お腹がいつぱいになっ
たところで人形劇。
さる吉は、遊んでいて
うっかりお寺の窓ガラス
を割ってしまいました。
怒られまいと友だちの黒
ブーが割ったとついウソ
をついてしまいます。ウ
ソをつかれた黒ブーはど

んな気持ちだったでしょ
う。サル吉の方もウソを
ついてその場はしのいだ
ものの、罪悪感で胸が痛
み続けます。そこにいつ
ものお坊さんが登場。さ
る吉は、お坊さんとのや
りとりを通して大切なこ
とに気づいてゆきます。
色々学び、楽しく遊ん
だ一日でした。



人形劇の様子。会場の子どもらと対話しながら劇
が進んでゆく。

歓喜会・初盆法要

浄土真宗ではお盆を歡
喜会といいます。長ノ木
本坊では、歓喜会期間中
の十四日・十五日、初盆
法要がつとまりました。
お盆休み中ということも
あって、ご家族に連れら
れて若いご方もたくさん
お参りされ、ご縁にあわ
れました。皆が戻ってくる
ので出づらい時期でもあ
りますが、逆に若い方に
仏さまのご縁を結ぶチャ
ンスでもあるのですね。

全戦争死没者追悼法要

十五日夜席は、全戦争
死没者追悼法要を勤修。
今年、デビット・マツ
キー絵・作『じろりじろ
りーどうしてけんかにな
るの』をプロジェクター
でスクリーンに映して皆

で鑑賞しました。

本当はみんな心のやさ
しいのですが、ちよつとし
たことから黒いゾウと白
いゾウに分かれて戦争が
はじまります。お互い意
地になって、結局ゾウは
みんな死んでしまい、誰
もいなくなりました。

しばらくしてジャング
ルの奥から灰色のゾウ
が出てきました。戦争を



みんな死んでしまいました。
デビットマツキー作絵『じ
ろりじろりーどうしてけん
かになるの』アリス館

嫌って逃げた白と黒のゾ
ウが混ざって灰色のゾウ
になったのです。ゾウは
平和に仲良く暮らしまし
た。しかしどうでしょう、
今度は耳の大きな灰色の
ゾウと耳の小さな灰色の
ゾウがもめはじめました。

ご意見・ご感想・寺報に載せる
記事・原稿を募集しています。

宛先 〒737-0051
呉市中央 7-7-13 西教寺蔵本通支坊内
西教寺報編集局 宛
FAX 0823-21-2795
Email info@saikyoji.net



劇「親鸞・わが心のアジャセ
(主演 川崎麻世)が九月十三
日呉市文化ホールで上演。写
真はお世話役の堅徳寺住職